



発見!私にもできる環境活動

3/7 あづみ野環境塾 ネットワーク交流会

あづみ野環境塾「ネットワーク交流会」(市・安曇野環境市民ネットワーク主催)が3月7日、豊科公民館で開かれました。安曇野環境ネットワークは、安曇野を中心に活動する団体などの交流を図るため昨年9月に発足。各団体の多様な取り組みを広く紹介するために、今回の交流会を企画しました。宮崎さんは、「この地域は環境保全などの市民活動がとても盛ん。ネットワークを通じて一緒にできるような活動をぜひ見つけてもらいたい」と話しています。



つながった ひろがった

3/7 つながりひろがる成果発表会

市民活動を支援する「つながりひろがる地域づくり事業」の成果発表会が3月7日、豊科ふれあいホールで開かれました。平成21年度は合計44団体がこの事業に取り組み、総額321万円の交付金が活用されました。この日は10団体がステージで成果を発表。このうち、「安曇野まほらランタン」の中嶋くに子さん(三郷温)は、「保育園児などと一緒に取り組んだランタン作りでは、保護者からも声を掛けられるようになり、交流も広がった」とその手応えを話してくれました。

「3拍子そろった作品」と高評価

3/10 第3回田淵行男賞に中島宏章さん

第3回田淵行男賞が、中島宏章さん(北海道札幌市)の「BAT TRIP(バット・トリップ)」に決まりました。選考会は3月10日にビレッジ安曇野で実施。129点の応募作の中から「専門知識・的確な技術・組写真としての構成、3拍子そろった作品」と高評価を得た中島さんの作品が選ばれました。また市内からは、フォトコン賞に小池治男さん(穂高)、岳人賞に伊藤圭さん(穂高)、山と溪谷賞に石田道行さん(三郷)が選ばれました。

田淵行男賞は、自然環境保護の先駆的な活動を行った名誉市民・田淵行男の業績を顕彰し、写真界の未来に貢献をするために5年おきに開催。3回目となる今回は、開館20周年を記念し実行委員会を組織して行われました。

授賞式は7月10日に交流学习センター「みらい」で。受賞作品展は7月2日から27日に同施設で開催する予定です。

▶受賞作「BAT TRIP」。20枚組の写真(右写真もその1つ)と研究論文で構成されています。受賞した中島さんはコウモリ研究者。作品の解説は裏表紙に掲載しています。



▼選考員(敬称略): 飯沢耕太郎、大森久雄、宮崎学、海野和男、三島靖、水越武

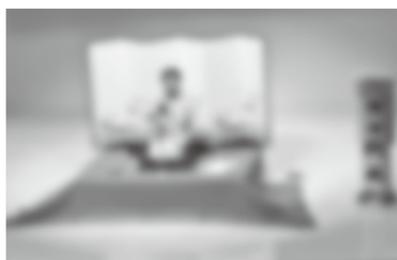


口から生まれたような夫婦だけど…

3/2 男女共同参画講座

市と市男女共同参画連絡協議会(山田安子会長)は3月2日、男女共同参画講座「高座DE講座 ことばにしたい感謝のひとつ」を穂高交流学习センター「みらい」で開催しました。

講師の矢口高士さんは、中信教育事務所指導主事(当時)であり、松川村落語会「風まんだら」に所属する落語の名人。古典落語の「酒粕」、「厩火事」、「芝浜」を披露し、家庭や地域などでより良い人間関係を築くために必要となる視点について語りました。会場が笑いで包まれる中、矢口さんは、「落語に出てくるような夫婦は、だいたい口から生まれたような夫婦が多い。それでも『芝浜』に登場する夫婦のように、最後は本音で話し、感謝の気持ちを伝えている。私たちは、思っているだけでは通じない部分があるかも」とコミュニケーションの重要性を強調し、囁を締めくくりました。



あれこれ体験 生涯スポーツ

3/6 安曇野さわやかフェスティバルフェスタ

生涯スポーツを行う市内の団体が集う「安曇野さわやかフェスティバル」(市体育協会主催)が3月6日、豊科勤労者総合スポーツ施設体育館で開かれました。2回目の開催となる今回は新たに2団体が参加。計6団体が、ダンス、太極拳、ストレッチ体操など、年齢に関係なく楽しめる運動を披露しました。実行委員長の永田善三郎さん(穂高有明)は、「普段やったことがないスポーツを知る良い機会。他の団体がどんなことをしているかを体験し、交流を深めたい」と話してくれました。



新しい世界へ飛び立ちます

3/24 市内の7中学校で卒業式

市内の7中学校で3月24日、卒業式が行われました。明科中学校(清水均校長)では、3年生77人が卒業。在校生の大合唱で会場を送り出されました=写真。卒業生代表の清水凌平さんは、「春を告げる白鳥の飛翔とともに新しい世界へ飛び立ちます」と答辞を述べました。

また、4月5日には市立の17小中学校でそれぞれ入学式が行われ、907人が小学校へ、969人が中学校に入学し、新生活の一步を踏み出しました。